

スコアボード

区選抜少年サッカー大会 (マリノス杯)  
4月1日(土)~4月9日(日) 市内グラウンド

第50回 横浜市春季少年サッカー大会  
4月16日(日)~6月25日(日) 市内グラウンド

社会人登録総会  
5月13日(土) 18:30~ 関内ホール



発行 一般社団法人横浜サッカー協会  
編集 同 広報委員会  
〒222-0033  
横浜市港北区新横浜2-6-3  
DSM新横浜7F  
TEL (045) 474-4315 FAX 474-4316  
http://www.yokohama-fa.or.jp  
印刷 神奈川新聞社  
〒231-8445 横浜市中区  
太田町2-23  
TEL 227-0739 FAX 227-0785



市民大会 優勝 ONODERA FC

# ONODERA FCが初優勝

## 2022年度 横浜市民大会

2月12日、快晴のニッパツ三ツ沢球技場で2022年度横浜市民大会決勝戦が行われた。決勝に進んだのはONODERA FCと東急スレイエスFC。どちらも初の決勝進出。両チームとも多くの家族や関係者の応援を受け白熱した試合展開となった。2-0でONODERA FCが参加68チームの頂点に立ち、初優勝を飾った。

### 事業計画など臨時総会開く

(一社)横浜サッカー協会は、3月27日に2022年度臨時総会を開いた。議題の①2023年度事業計画②別掲③2023年度収支予算について審議、原案通り可決した。



横浜少年サッカー大会 優勝 バディー・SC



山中市長と選手ら ©FANTASISTA

### 開会式で山中市長も応援

第48回横浜少年サッカー大会(市長杯)は1月7日、新春らしい快晴で穏やかな天気の中、日産小机フィールドで開会式が行われた。前回優勝、横浜ジュニオールSCを先頭に参加151チームが堂々と入場。選手宣誓は抽選会で48番を引いた、FCアムゼルの2名の選手が務めた。開会式終了間際には、山中市長が選手らと握手した。

151チームが参加

## 優勝 バディー・SC

第48回横浜少年サッカー大会(市長杯)

の中、日産小机フィールドで開会式が行われた。前回優勝、横浜ジュニオールSCを先頭に参加151チームが堂々と入場。選手宣誓は抽選会で48番を引いた、FCアムゼルの2名の選手が務めた。開会式終了間際には、山中市長が選手らと握手した。

公務多忙の中を駆けつけ、参加選手たちに激励の言葉をかけるとともに、記念撮影に際するなどの応援をしていた。本大会はトーナメント方式で、1月7日日産小机フィールドにて開幕し、横浜スタジアム、しんよこフットボールパークで熱戦が繰り広げられた。天候にも恵まれ、順調に大会が進み2月26日に決勝戦三位決定戦がしんよこフットボールパークで行われた。準決勝ではPK戦もあり接戦を勝ち抜いた、バディーSCと青葉FCが決勝戦に駒を進めた。三位決定戦も一進一退の好ゲーム、勝敗がつかずにPK戦となった。

### チームを支えるバディー 保坂 俊哉

【大会結果】  
優勝 バディーSC  
2位 青葉FC  
3位 CFG・YOKOHAMA  
4位 JFC・FUTURO

令和4年度YFA新春サッカーフェスティバルが1月9日、横浜スタジアムで行われた。今年度も新型コロナウイルス感染症防止のための制限があるなか、高体連、女子委員会、社会人委員会、少年委員会、中体連、シニアユース委員会による各カテゴリーでの交流試合で新年を祝った。新春サッ

カーフェスティバルも横浜サッカー協会の新年を祝うイベントとなり、役員・関係者はじめ参加選手ら全員が今年初めてのサッカー試合を楽しんだ。

候の中で加盟団体及び園児(幼児)が日産スタジアムの見えるピッチいっぱい元気なプレーし、楽しみながらサッカー技術向上を図るキッズサッカー大会が行われた。

【決勝】  
バディー 3-0 青葉SC  
【三位決定戦】  
CFG・YO 1-1 JFC・FUTURO  
KOHAMA UTURO (4PK3)

【強い!! 横浜トレセン】  
第7回横浜招待少女サッカー大会は、1月21日、22日、7日横浜招待少女サッカー大会は、1月21日、22日、しんよこフットボールパークで町田、厚木、埼玉、小田原、相模原、平塚、大和、鎌倉、藤沢など近郊のチームを招待し、横浜T.C.の4チームを加えて行われた。初日の21日は、4チーム4ブロックで予選リーグが行われ、上位2チームによる決勝

【3位決定戦】  
横浜T.C. 3-0 相模原T.C.  
【大会結果】  
優勝 横浜T.C.・A  
2位 横浜T.C.・U11  
3位 横浜T.C.・B

【シニアもリフレッシュ】  
1月8日に横浜スタジアムにてシニアの部・40歳以上、OBの部・50歳以上、オールドの部・60歳以上のチームから16チームが参加してシニア新春サッカーフェスティバルが開催された。数年続くコロナ過による憂鬱な雰囲気を払い除くように恒例行事に汗を流し、今後の活動に向けて心身ともにリフレッシュした。

【ハーフタイム】  
3月13日から、政府が呼びかけてきたマスクの着用が屋内外を問わず個人の判断に委ねられることとなった。この日、街に出てみたがほとんどの人がマスクを着用していた。マスク着用が習慣づけられてきた習性か。本日は、また新型コロナウイルス感染症防止のためにもなかなか外すことができないのではないかと思う。また、自分もそうだがこの時期、花粉症対策としてもしばらくはマスク着用でいこう。マスクといえば、新型コロナウイルス感染症が広がった当初は、入手する事ができず薬屋の前に長い列をつくり4、5枚手に入れたことも思い出す。極めつけは、急激なマスク需要に政府が一家族に1枚ずつ布マスクを配給した。アパノマスクである。届いたころには、もうマスクも入手しやすくなつており、高い税金を使つてなどと首をかきあげたものである。この4月から学校も基本的にマスク着用を求めないこととなる。新年度、各種サッカー大会が始まり、さまざまな感動を与えてくれるものと思う。しかし、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではない。感染防止ガイドラインを遵守し、サッカーを楽しむ。



優勝 横浜T.C.・A



準優勝 横浜T.C.・U11



三位 横浜T.C.・B

【T】

2023年度 事業計画

- サッカーに係る試合の主催及び公式記録の作成に関する事業(定款第4条第1号)
  - 令和5年度YFAスーパーキッズゲーム  
令和5年6月24日(土)、9月30日(土)、令和6年2月24日(土) 3回
  - 第26回横浜市18区選抜少年サッカー大会(横浜F・マリノス杯)  
令和5年4月1日(土)～4月9日(日)
  - 第7回横浜市18区選抜少女サッカー大会(ニッパツ横浜FCシーガルズ杯)  
令和5年7月1日(土)～7月9日(日)
  - 第49回横浜少年サッカー大会市長杯  
令和6年1月6日(土)～3月3日(日)
  - 第50回横浜市春季少年サッカー大会  
令和5年4月16日(日)～6月25日(日)
  - 第55回横浜国際チビッツサッカー大会  
令和5年9月3日(日)～11月26日(日)
  - 第20回横浜市18区代表U11サッカー大会(第4回タカナシカップ)  
令和5年11月3日(金/祝)、11月4日(土)
  - 第58回横浜市市長旗争奪ジュニアサッカー大会  
令和5年4月1日(土)～6月18日(日)
  - 2023YFAフェスティバル  
＜サマーフェスティバル＞  
令和5年7月または8月 2日間  
＜ウィンターフェスティバル＞  
令和5年12月または令和6年1月 2日間
  - 第10回すずらん少女サッカー大会  
令和5年11月3日(金/祝)
  - 第31回カトレア杯少女サッカー大会  
令和5年9月23日(土/祝)
  - 第34回横浜少女サッカー大会  
令和6年3月30日(土)、3月31日(日)
  - 第3回U-14ガールズカップ  
令和6年1月6日(土)
  - 2023年度レディース大会(U-15ガールズリーグ)  
令和5年4月9日(日)～令和6年3月17日(日)
  - 令和5年度 第2回ママさんフットサル大会  
令和5年11月23日(木/祝)
  - 令和5年度 第2回U-15ガールズフットサル大会  
令和5年11月23日(木/祝)
  - 2023年度横浜市民リーグ 社会人の部  
令和5年5月～令和6年3月
  - 2023年度横浜市民大会 サッカー競技 一般の部  
令和5年5月～令和6年3月
  - 2023年度市民マスタースoccer大会  
令和5年4月～令和6年3月
  - シニア新春サッカーフェスティバル  
令和6年1月7日(日)
  - シニア親善交歓サッカー大会  
令和5年4月～令和6年3月
  - 2023 YOKOHAMAビーチサッカーフェスタ  
令和5年8月5日(土)、8月6日(日)
- サッカーに係る団体の登録に関する事業(定款第4条第2号)
  - チーム登録  
登録数 社会人:98 4種:180 シニア:53 女子:11  
ジュニアユース:28 中体連・J連盟チーム等:7 合計377チーム  
個人登録費(4種のみ対象)  
登録数 8,500人
- サッカーの指導者等の養成に関する事業(定款第4条第3号)
  - コーチングセミナー(D級コーチ養成講習会)  
令和5年12月9日(土)～12月10日(日)
  - 審判員の実技研修会  
令和5年6月～8月
  - 指導者養成 基調講演会  
令和5年5月・9月
  - 審判員の観戦研修会  
2023年度 市民大会決勝戦(予定)  
4級審判員の強化育成事業(3級審判員推薦事業)  
令和5年4月～11月(8ヶ月で5名を推薦)
- サッカー技術の向上に関する事業(定款第4条第4号)
  - ゴールキーパー指導者講習会  
令和6年3月2日(土)
  - トレセン事業(少年/少女/ジュニアユース/中体連)  
令和5年4月～令和6年3月
  - ジュニア競技力向上事業  
令和5年4月～12月
  - 第47回神奈川県選抜少年サッカー大会への参加  
令和5年12月9日(土)10日(日)17日(日)
  - 第43回神奈川県選手権U-12への参加  
令和5年7月1日(土)2日(日)9日(日)
  - 第15回神奈川県選手権U-10への参加  
令和5年7月1日(土)2日(日)9日(日)
  - 第21回神奈川県8人制サッカー大会兼8人制関東大会予選への参加  
令和5年12月2日(土)3日(日)
  - 第14回神奈川県地域交流大会への参加  
令和5年9月10日(日)17日(日)
  - 第18回神奈川県地域対抗サッカー大会への参加  
令和5年11月19日(日)～12月3日(日)
- サッカーに係る広報及び普及に関する事業(定款第4条第5号)
  - 広報誌の発行  
印刷部数 2,000部/回 年3回
  - 新春サッカーフェスティバルの開催  
令和6年1月8日(月/祝)
  - シニア・レディースサッカースクール  
※2023年度は、会場の「本牧市民公園運動広場」が改修工事により使用不可のため、開催なし
  - 生涯スポーツ教室(オールドボーイ)  
令和5年4月～令和6年3月 昼間開催 年間約20回
- サッカーに係る地域間交流に関する事業(定款第4条第6号)
  - 第62回日朝親善サッカー大会  
令和5年10月28日(土)29日(日)
  - 日韓ジュニアサッカー交流大会  
8月予定
  - 日韓シニア交流大会  
令和5年7月15日(土)～17日(月/祝)
  - 横浜招待少年サッカー大会  
令和5年12月2日(土)3日(日)
  - 横浜招待少女サッカー大会  
令和6年1月20日(土)21日(日)
  - 横浜招待シニアサッカー大会  
令和6年2月
  - シニア地域交流大会
  - ねりんピック愛媛大会  
令和5年11月12日(日)～11月15日(水)本大会
- サッカーの試合会場の提供に関する事業(定款第4条第7号)  
令和5年4月～令和6年3月
- サッカーに係る試合の運営受託に関する事業(定款第4条第8号)
  - 受託事業 令和5年4月～令和6年3月
- スポーツ施設の管理運営受託に関する事業(定款第4条第9号)
  - 運営受託事業 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第10号)
  - 横浜市民のスポーツ文化に対する助成事業
  - 各種大会に対する後援・協力事業



F・神工60



横浜シニア50



横浜シニア40

**優勝**  
60の部 F・神工60  
50の部 横浜シニア50  
40の部 横浜シニア

シニアマスタース大会

シニアマスタース大会の決勝は2月11日と12日にニッパツ三ツ沢球技場で開催された。11日は前日の寒冷前線による降雪の影響は全くなく、やや風があるものの暖かい日差しが射して芝の緑が映える中、60の部の3位決定戦があり後半に三春台60が得点を重ね5対1の大差でAS本牧を退けた。

続いて行われた60の部の決勝ではF・神工60に対して横浜シニア60がやや優位に進めた試合に見えたが決定機に決

めきれず延長戦となるが互いに決めてなく両チームノーゴールでPK戦による決着となる。先制の横浜シニア50が一本を外し4得点に対して、後陣のF・神工60の5人目のゴールでPK戦を制し優勝となった。

前日に比べ、風は無いが空は曇り多めで若干日差しを遮る時間が多めの12日は、50の部と40の部の決勝が行われた。第1試合の50の部では横浜OB50が先制ゴールを決めたが前半の内に横浜シニア50が

得点し、試合を振り出しに戻した。後半戦は横浜シニア50が左サイドからゴール前に放り込んだボールを中央で受けた選手のシュートで勝ち越しゴールを得た。続いてやはり左サイドからの攻め上がりからそのままシュートで得点を重ね3対1で試合を決定づけた。続く第2試合は40の部の決勝戦で開始から10分までは目立った展開はなくほぼ互角の状態にみえたが横浜シニア40が前半11分から14分にかけて立て続けに得点して優位な

試合展開とする。一方オフサイド40も何度か得点のチャンスを得るが攻めきれず後半の終了近くで横浜シニア40がダメ押しを追加ゴールで3対0とし、そのまま試合終了の笛で横浜シニア40の優勝が決まった。なお、今年度、40の部はチーム数が増えて予選リーグのグループ分けが偶数となり3位決定戦が可能となった。1月21日にあざみ野キッカーズが2対1でJクラブ40を降した。結果は、次の通り。



招待(川崎、藤沢、大和)サッカー大会  
12月3日、11日、25日の3日間で90周年記念社会人大会を行った。日程の関係で招待、日本サッカーリーグOB、登録チーム土曜日、日曜日の部と分けて行った。

招待の部は近隣の川崎市、藤沢市、大和市チームでトーナメント戦を行った。横浜市チームはかながわクラブが出場したが、初戦敗退となった。登録チームの部は申込み多数となり抽選で出場チームが決まった。

往年の日本リーグを再現  
OBの部は日本鋼管、日産自動車、東京ガスの3チームでリーグ戦を行った。コロナ禍で久しぶりにサッカーをするという喜びを感じていた。

創立90周年事業の一環として横浜サッカー協会は、1月21日に日産スタジアム会議室に、サッカー指導者が「障がいを持った子供たちや成人の方たちにどう向き合っていくのか」を考えていくための講演会を開催した。

**相互理解で障がい者とサッカー講演会開催**

横浜マリノス(株)	(株) 横浜シミズ
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
横浜食品開発(株)	(株) 横浜アーティスト
	(有) フリースタイル

法人会員一覧